

広報 すぎなみ

Suginami

応援の声を追い風に
「五輪で金メダル」を。

昨年、バドミントンの全英オープンで男子ダブルスの優勝を果たした渡辺勇大さん。国内外の数々の大会で優勝経験を持つ若きトップアスリートですが、これまでのキャリアの中では何度もなくじけそうになったそうです。小学校の卒業式で発表した「五輪で金メダル」に向かってひたむきに努力を重ねる渡辺さんに、バドミントンに懸ける今の思いを伺いました。



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

2/15
令和3年(2021年)
No.2296

特集

人
すぎなみピト

渡辺
勇大

バドミントン選手



全写真提供：日本ユニシス(株)

Contents — 主な記事 —

7 | レジ袋の削減にご協力ください 8 | 3月は杉並区自殺予防月間です 16 | すぎなみサイエンスフェスタ

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🏠 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課



お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が中止になる場合があります。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

バドミントンを続けていくことで「ありがとう」を返していきたい。

世界を舞台に、ダブルスで勝負すると決めた

— 昨年の全英オープンでは男子ダブルスで優勝。混合でも活躍されていて素晴らしいですね。ダブルスを始めたのはいつ頃からですか？

初めてダブルスをやったのは中学2年生の時、東野（有紗）先輩とのペアでした。インドネシアの大会に学校単位で出場することになり2人組を作ったのですが、みんながどんどんペアになっていく中で僕と先輩だけ最後まで余ってしまっ。仕方ないので余った者同士で組んだのですが、そこから9年間ずっと続いているのですから、偶然とはいえ素晴らしい出会いだったということですね。

— ダブルスに絞って取り組むようになったのはなぜだったのでしょうか？

高校1年の選抜大会の男子ダブルスで、バドミントン人生で初めて日本一のタイトルを獲得しました。そうしたら多分、欲が出たんでしょうね。「負けない」という景色を見て、世界で勝ちたいと欲が湧いてきた。そのためには、シングルスでは難しいかもしれないけれど、ダブルスなら世界にたどり着けるかもしれない、道筋がうすただけだと見えるという実感があつたのです。そこでダブルスに集中することを決めました。そこから時間はかかりましたが、少しずつダブルスのプレーヤーとして完成に向かっていくのかなと思います。

— 2人で力を合わせるダブルスにおいて最も大切なことは何ですか？

「協調性」そして「思いやり」です。この二つがなければパートナーの考え方が理解できませんので、ダブルスとして成り立ちません。そして、パートナーの考えていることが分からない時、うまくいかない時は、絶対に放っておかないこと。言葉にして考えを伝え合い、具体論を出しながら解決するまで話し合います。たとえ意見がぶつかってしまっても、お互いに「伝えること」「受け取ること」が非常に大切です。



— 普段の人間関係にも生かすことができそうですね。

僕も以前は「言わなくても理解してよ」とばかり思っていましたよ。高校生の時に会ったインドネシア人のジェレミーコーチにまず言われたのが、「コミュニケーションをもっと取りなさい」ということでした。たと

えお互いの考えが同じだと頭で分かっている言葉にすることが大切なのだ。それによって^{あうん}呼吸よりもさらに深い理解が生まれるのだと教えられました。その教えは本当に魔法のようで、コミュニケーションを密にしたことがその後勝負に直結していきました。あとはプラスに働くような伝え方をすることも大切です。僕はパートナーには自分の弱みを見せて、「ここが不得意だからカバーしてくれると助かるんだ」という姿勢で伝えるようにしています。

中学で一人福島へ。基礎を作った3年間

— バドミントンを始めた頃の、子ども時代のことを教えてください。

生まれも育ちも茨城です。子ども時代はものすごく恥ずかしがり屋で、人前に出たくないから存在感を消してみんなの後ろにいるようなタイプでした。勉強が嫌いで、放課後に友達と「ゆう杉並（児童青少年センター）」でバスケットをしたり、暗くなるまで公園で鬼ごっこをしたりと、とにかく疲れ知らずに走り回っていました。そんな中、何かスポーツを習いたいとなって体験に行ったのが野球とバドミントン。野球はノック1球目でトンネルしてしまって「もうやらない」と諦めたのですが（笑）、バドミントンはちょっとだけドラケットに当てることもできたし、やってみようかなということ週2日だけ通い始めました。



▲バドミントンを始めた小学生の頃（左）

— 親元を離れて福島県の富岡第一中学校へ進学したのはなぜですか？

どちらかというと両親の勧めが大きくて、入学を決めた時点では本気で強くなろうと思うまでには至っていませんでした。週2日だけ気楽にバドミントンをやっていたのが、突然の週7日練習です。それまで早起きなんてしたことがなかったのに、毎朝6時起床、点呼をして朝食を食べたら朝練、放課後も練習…しんどすぎて入学から数日後には「もうやめる」と実家に電話をかけていました。でも、電話の向こうの父に「帰ってきてもいいけど走って帰って来い。鍵は閉めておく」と言われ、これはもうやるしかないかと観念しました。でも、その中学3年間が自分のバドミントンの基礎を作ったのは間違いありません。つらくて何度もやめたいと思ったけれど、今振り返れば必要な3年間だったと言えます。バドミントンのスキルだけでなく、人間としても大きく成長できた貴重な期間でした。



渡辺 勇大

夢を与え、人としても愛されるアスリートになりたい

— 厳しさを味わいながらも、競技を続けてこれたのはなぜですか？

だって、僕からバドミントンを取ったら何の取りえもないですし（笑）。ある意味、バドミントンなしでは生きてゆけない。切り離したくても切り離せない、そんな大切な存在なんです。それから、これまで自分を支えてくれた人に恩返しをしたいという気持ちも原動力になっています。中学1年生の終わりに東日本大震災に遭い、その時はバドミントンを続けられないのではという状況でした。けれども、多くの人が力を尽くしてくれて再開することができた。当たり前だと思っていたことが、当たり前じゃない。支えてくれる人たちがいるからこそ自分はバドミントンができていたのだと気付かされる経験でした。バドミントンしかできない自分ですから、バドミントンを続けていくことで「ありがとう」を少しずつ返していきたいと思っています。

— 渡辺さんが今一番かなえたい夢は何ですか？

実は小学校の卒業式で将来の夢を発表しなければならなくて、「五輪で金メダルを取る」と言ったんです。恥ずかしいから僕はそんなこと言いたくなくて別の夢を用意しておいたのですが、先生から「お前はそうじゃないだろう、金メダルだろう」と言われて。富岡第一中学校を勧めた両親をはじめ、周囲の人が僕よりも僕のことを理解してくれていたんだと改めて思います。ですから今は、いつか五輪で金メダルを取れるように努力を重ねる日々です。そして自分が活躍することで、バドミントンがもっと注目されてほしい。将来なりたい職業の1位がバドミントンプレーヤーになるのが目標です。応援してくれる皆さんの声を背に受け、追い風にして、夢をかなえるために頑張ります。

プロフィール：渡辺勇大（わたなべ・ゆうた） 平成9年生まれ。杉並区荻窪出身。小学2年生からバドミントンを始め、中学は単身で福島県の強豪校である富岡第一中学校に進学。富岡高校1年時の選抜大会で初めて日本一（男子ダブルス）のタイトルを獲得し、その後も国内外問わず多くの大会で活躍。男子および混合をこなすダブルス二刀流で、権威ある全英オープンにおいて二種目で日本人初の優勝を経験している。

抽選で3名に 渡辺勇大さんのサイン色紙をプレゼント!

応募方法 はがき・Eメールでご応募ください。
▶締め切り日=3月1日（消印有効）

【対象】区内在住・在勤・在学の方
【記入要領】①郵便番号・住所②氏名③年齢
④渡辺勇大さんへの応援メッセージ、「広報すぎなみ」への意見・感想など

【宛先】広報課広報係 koho-suginami@city.suginami.lg.jp
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
応募の際に得た個人情報、プレゼントの発送にのみ使用します。
【問い合わせ】広報課広報係

渡辺勇大選手が解説！
もっと知りたい！
バドミントン

バドミントンの試合を観たことがありますか？ 魅力を知ってぜひ楽しんでいただきたいです！

魅力その1 音
シャトルのショット音、選手の息遣い、シューズが擦れる音、声援…競技の魅力が音に詰まっているといっても過言ではなく、目をつぶって観戦してもぎっと楽しめると思います。

魅力その2 スピード
スマッシュ時のシャトルの速度は球技最速と言われていて、僕でも見えない時があります（笑）。特に男子ダブルスは圧巻のスピードを体感でき、初めて観戦する人も楽しみやすいですよ！

魅力その3 駆け引き
男女で組むからこそ駆け引きの面白さが際立つのが、混合ダブルスの試合。頭脳戦の中で多様な駆け引きが見られ、思いがけない展開が起きることも珍しくありません。

スマッシュ速度は400km/h以上にも！

YouTubeで配信中!

紙面には掲載しきれなかった取材のこぼれ話も動画で紹介しています。

すぎなみビト「渡辺勇大さん」のインタビューが動画でも楽しめます。右2次元コードからご覧いただけます。

杉並区公式チャンネル